

# 会社案内

2024 年(令和 6 年)2 月度版

日本産業規格認証工場 認証番号 GB0207069  
国土交通大臣認定工場 認定番号 MCON-3866  
(高強度コンクリート)

## 秋田生コンクリート株式会社

〒010-0063 秋田市牛島西一丁目1番8号

 電話	 IP 電話	 FAX	 メール
018-832-2087	050-3661-0579	018-832-2655	mail@akinama.net

ホームページ・<https://www.akinama.net/index.html>

ブログ・<http://www.a-news.sblo.jp>

## ・概要

会社名	秋田生コンクリート株式会社
本社及び工場所在地	〒010-0063 秋田市牛島西一丁目1番8号
設立／営業開始	1962年（昭和37年）8月1日／1962年（昭和37年）10月
資本金	1,320万円
決算月	12月
営業目的	生コンクリート、セメント製品の製造販売
役員	代表取締役社長 鈴木一博
	代表取締役 田中兵弥
	取締役 山科 昇
	取締役 山脇 幹
	取締役 田口清光
	監査役 津谷永光

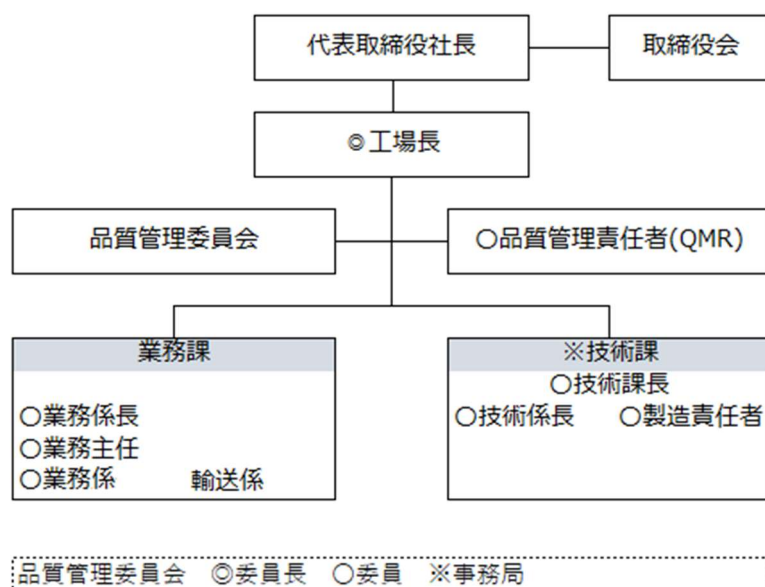
## ・所属団体

秋田県生コンクリート工業組合

## ・歩み

1962年(昭和37年)10月	秋田県初、東北2番目の生コンクリート工場として創業
1967年(昭和42年)10月	日本工業規格表示許可工場となる
1975年(昭和50年)12月	バッチャープラントを更新（ワンマンコントロール方式を採用）
1983年(昭和58年)10月	出荷管理装置（M-50）を導入
1987年(昭和62年)5月	骨材置場改築（屋根付きコンクリートサイロ）
1989年(平成元年)1月	コンピュータプログラム方式の計量制御装置（TAWX）に変更
1990年(平成2年)11月	強制2軸ミキサ（SD-2000）に変更
1995年(平成7年)6月	試験室改築
2003年(平成15年)10月	国土交通大臣認定 MCON-0481 を大成建設株様と共同取得
2003年(平成15年)11月	計量制御装置を TAW-NX に更新し、プラント遠隔操作
2007年(平成19年)10月	新 JIS 対応で日本建築総合試験所と認証契約を結ぶ
2010年(平成22年)3月	新 JIS 対応の出荷管理装置（SV-M）に更新
2010年(平成22年)10月	国土交通大臣認定 MCON-2345 を清水建設株様と共同取得
2010年(平成22年)10月	JIS 定期認証維持審査
2013年(平成25年)10月	JIS 定期認証維持審査
2014年(平成26年)1月	骨材置場ベルトコンベア更新
2014年(平成26年)5月	高性能 AE 減水剤使用配合標準化
2016年(平成28年)10月	JIS 定期認証維持審査
2017年(平成29年)12月	蒸気ボイラー（K-500M）を設置
2017年(平成29年)12月	国土交通大臣認定 MCON-3866 を単独取得
2019年(令和元年)9月	JIS 定期認証維持審査
2020年(令和2年)9月	事務所新築
2020年(令和2年)11月	高圧変電設備更新
2021年(令和3年)10月	残水処理機「硬まるくん」FSR-3型を設置
2021年(令和3年)11月	コンクリート破砕機「ワニコング」BY-15N型を設置
2022年(令和4年)7月	JIS 定期認証維持審査
2022年(令和4年)11月	蒸気ボイラー（K-300M）を増設
2024年(令和6年)2月	簡易無線をデジタル機種に更新

## 1. 組織図



・従業員（パート社員含む） 11名（男性9名、女性2名）

・有資格者

工業標準化品質管理責任者	1名
工業標準化品質管理責任者代理者	1名（講習受講者全4名）
コンクリート主任技士	3名
コンクリート技士	1名
安全運転管理者	1名
安全衛生推進者	2名（資格付与教育）
危険物保安管理者	乙種4類1名 丙種2名
公害防止管理者	水質4種1名
産業廃棄物中間施設技術管理士	1名
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	1名
低圧電気取扱業務	3名（特別教育）
アーク溶接	2名（特別教育）
ガス溶接	3名（技能講習）
研削砥石	1名（技能講習）
ボイラー取扱	小型3名（技能講習）
クレーン運転業務	2名（特別教育）
玉掛	3名（技能講習）
車両系建設機械（整地等）	2名（技能講習）
ショベルローダー等運転	1名（技能講習）
フォークリフト運転	3名（技能講習）
高所作業車運転	1名（技能講習）
整備管理者〔同補助者〕	各々1名

## ・製造設備

バッチャープラント

製造能力

ミキサ

計量制御装置

容量変更装置

表面水率補正装置

貯蔵瓶

計量瓶 (max/min)

全自動ワンマンコントロール方式 (遠隔操作)

80m<sup>3</sup>/時、640m<sup>3</sup>/日

大平洋機工(株)製 強制2軸ミキサ SD-2000

タケモトデンキ(株)製 LCD表示計量制御装置 TAW-NX

0.5~2.0m<sup>3</sup>

細骨材 0.0~19.9%、粗骨材 0.0~19.9%

セメント 4t×2、骨材 8 m<sup>3</sup>×2+16 m<sup>3</sup>×3、水 3 m<sup>3</sup>

セメント 1320kg/1kg (切替)

粗骨材 3000kg/5kg (個別) ×2

細骨材 2000kg/2kg (個別)、2000kg/2kg (累加)

水 400kg/0.5kg (切替)

AE減水剤 20kg/0.02kg (切替)

混和剤 10kg/0.02kg (切替)

## ・貯蔵設備

セメントサイロ

骨材置場

混和剤タンク

120t 1基、100t 1基、30t 1基

屋根付きコンクリートサイロ 5区画 856m<sup>3</sup>

6000L 1基、5000L 1基、4000L 2基

## ・出荷管理装置

タケモトデンキ(株)製 SV-M (JIS A 5308-2014 対応済み)

## ・運搬車

トラックアジテータ 大型10t車 7台、中型4t車 1台

(全車デジタル簡易無線装備・簡易GPS搭載)

## ・試験車

軽トラック 1台、軽ワゴン車 1台、2tユニック車 1台

## ・その他

モリ技巧(株)製 残水処理機「硬まるくん」FSR-3

赤江機械工業(株)製 コンクリート破砕機「ワニコング」BY-15N

エレポン(株)製 排水中和処理装置 PB-10

北越工業(株)製 スクリュコンプレッサ SAS15VDE

(株)IHI製 蒸気ボイラー K-500M及びK-300M

日本精密(株)製 集じん機 FB-3700A

## ・検査設備

試験室

恒温養生装置

養生水槽

骨材試験

木造2階建て のべ92m<sup>2</sup>

(株)博進製作所製 SWC-10 (デジタル温度計・SHIMADEN SR30)

コンクリート製水槽 (3.6×3.1×0.7m) 供試体1428本収容

試験用ふるい、単位容積質量マス (2L、10L)、試料分取器、

骨材密度・吸水率試験器具、試料乾燥機、デシケータ

耐圧試験機 (1000kN)、試し練りミキサ (55L)、練り舟、柄杓、

スランプ試験器具2組、空気量試験器具3組、5mm板ふるい、

スランプフロー試験器具 (平板、スケール、ストップウォッチ)、

単位水量推定 (1600W電子レンジ、棒状バイブレータ、紙皿)、

塩化物含有量測定器具 (カンタブ、濾液抽出器)、軽量型枠、

強度用供試体型枠 (φ10×113本、φ12.5×36本、曲げ6本)

秤 (max/min)

直視電子秤 (6.0kg/0.1g)、(30kg/1g)、(60kg/10g)

その他の器具

ガラス容器、キャッピング用具、温度計各種、試料採取用一輪車

## ・環境への配慮（低公害型設備の導入）

当社は第一種住居地域と準工業地域にあるため、環境への配慮が特に求められます。

プラントは第一種住居地域から遠い位置に建設し、低騒音・低振動の設備を設置するように心掛けています。

低騒音のインバータ制御油冷式スクルーコンプレッサを 2022 年に導入し、パーシ制御+自動発停で運転時間を短縮、更に遠方操作で不要時の運転を停止できます。

プラント建屋は出来る限り小さい窓を設置し、出入り口は厚さ 5 cm の金属製ドアで防音対策をしています。

ミキサー車ドラム洗浄から出るスラッジ処理のため、2021 年に残水処理機「硬まるくん」FSR-3 型を導入しました。

シンプル・省電力設計で骨材回収型洗車設備と比較して大幅な騒音減少を達成しています。

設備は 24 時間連続稼働ですが、小型モーターと硬質ゴムレーキによる掻き揚げで夜間でも運転音は気になりません。

「硬まるくん」から排出されるスラッジ量は従来の半分以下で、多くは固化スラッジとなるため有効利用が可能です。



残コン・戻りコンは専用型枠で固化後、コンクリート破砕機「ワニコング」BY-15N 型で再生砕石を製造しています。

「ワニコング」は油圧シリンダーでコンクリートがらを左右から押し潰して破砕するため、インパクトクラッシャーのような衝撃音は全くありません。

投入口が大きいのでコンクリートがらをブレーカーで小割りする必要がなく、騒音発生を抑えられます。



## ・使用材料

使用材料 (社内標準化した材料)		配合設計の基準値				
		密度	粗粒率	実積率	製造会社名	産地・出荷場所など
セメント	普通	3.16			太平洋セメント(株)	秋田南 SS
	早強	3.14				酒田南 SS
	高炉 B 種	3.04				秋田北 SS
骨材	細砂	2.61	1.70		(有)岩城産業	由利本荘市浜三川
	粗砂	2.56	3.44		(株)熊岡振興	仙北市角館町
	砕石 2005	2.70	6.55	61.0%	太平洋セメント(株)	北海道北斗市
	砕石 4020	2.68	7.97	56.8%	臨海砕石(株)	仙北市西木町
水	上水道水	1.00			秋田市上下水道局	
	上澄水	1.00			自社	
AE 減水剤	マスターボゾリス No8IMP	1.10			ポゾリスソリューションズ(株)	
	マスターボゾリス No8	1.10				
	ヤマソー 90SE	1.07			山宗化学(株)	
高性能 AE 減水剤	マスターグレンウム SP8SV	1.075			ポゾリスソリューションズ(株)	
	ヤマソー V1S	1.07				
	ヤマソー V1R	1.10			山宗化学(株)	
	ヤマソー V1H	1.055				

(膨張材、防錆材、耐寒剤、顔料その他の混和材料は規格外品として対応可能)



## ・ J I S 認証書 (写し)

JISマーク表示制度		認証書別紙	
認証番号: GB0207069		認証番号: GB0207069	
秋田生コンクリート株式会社 秋田県秋田市牛島西一丁目1番8号		認証日: 2007年10月3日 再発行日: 2019年9月4日	
産業標準化法第30条第1項の規定に基づき、下記の鉱工業品が主務省令及び日本産業規格に適合していることを認証します。		認証に係る製品の種類又は等級	
記		表1 認証に係る製品の種類	
1. 鉱工業品の名称: レディーミストコンクリート		呼び強度	
2. JISの番号及び名称: JIS A 5308 レディーミストコンクリート		16 21 24 27 30 33 36 40 42 45	
3. 認証の区分: 普通コンクリート		呼び強度	
4. 製品の種類又は等級: 認証書別紙による		16 21 24 27 30 33 36 40 42 45	
5. 工場の名称及び所在地: 秋田生コンクリート株式会社 秋田県秋田市牛島西一丁目1番8号		呼び強度	
認証日: 2007年10月3日		16 21 24 27 30 33 36 40 42 45	
再発行日: 2019年9月4日		呼び強度	
一般財団法人 日本建築総合試験所 大阪府吹田市牛島西一丁目1番8号		呼び強度	
理事長 井上 一朗		呼び強度	

## ・ 評価判定結果通知書 (令和4年受審分)

評価判定結果通知書	
秋田生コンクリート株式会社 代表取締役社長 鈴木 一博 様	
一般財団法人 日本建築総合試験所 製品認証センター 様	
貴社からの申請に基づく認証審査について、下記のとおり評価判定結果を通知いたします。	
記	
1. 認証番号	: GB0207069
2. 評価判定の事由	: 定期的認証維持審査
3. 評価判定結果	: 審査結果は、当センターが定める審査基準に適合していたので、認証継続可とする。
4. 評価判定の範囲	: 秋田生コンクリート株式会社 (1) 認証取得者名: 秋田生コンクリート株式会社 (2) 工場名: レディーミストコンクリート (3) 鉱工業品の名称: 普通コンクリート (4) 認証区分: JIS A 5308 レディーミストコンクリート
5. 次回の定期的認証維持審査に係る申請書受理期限	: 当工場での定期的認証維持審査の基点日は2023年5月15日であり、次回の定期的認証維持審査については、2025年5月15日までに、当センターが同審査の申請書を受審する必要があります。
以上	
No.07-003E	

## ・ J I S 品納入書 (見本)

レディーミストコンクリート納入書	
令和 年 月 日	
日本産業規格表示認証工場 秋田生コンクリート株式会社 秋田県秋田市牛島西一丁目1番8号 TEL018-832-2087 FAX018-832-2655	
JIS GB0207069	
納入場所	
運搬車番号	
納入時刻	
着	
納入容量	
呼び方	
配合表	
備考	
運搬時間	
荷受職員の認印又はサイン	

・高強度コンクリート国土交通大臣認定 MCON-3866 認定書（写し）及び納入書（見本）

**認 定 書**

国土指第 2759 号  
平成 29 年 12 月 22 日

秋田生コンクリート株式会社  
代表取締役社長 鈴木 一博 様

国土交通大臣 石井 啓

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 68 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 37 条第 2 号の規定に適合するものであることを認める。

記

- 認定番号  
MCON-3866
- 認定した構造方法等の名称  
高強度コンクリート
- 認定した構造方法等の内容  
断面の通り

（注意）この認定書は、大切に保管しておいてください。

**レディーミクストコンクリート納入書**

令和 年 月 日

日本産業規格表示認証工場  
**秋田生コンクリート株式会社**  
秋田市牛島西一丁目 1 番 8 号  
TEL018-832-2087 FAX018-832-2655

納 入 場 所									
運 搬 車 番 号									
納 入 時 刻	発	時 分							
着	時 分								
納 入 容 積	m <sup>3</sup>	累 計	台	m <sup>3</sup>					
呼 び 方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの価額による記号				
	MCON	42	21	20	N				
配 合 表 kg/m <sup>3</sup>									
セメント	水和材	水	細骨材 ①	細骨材 ②	粗骨材 ①	粗骨材 ②	粗骨材 ③	水和剤 ①	水和剤 ②
434	-	170	367	366	-	982	-	-	4.34
水セメント比	39.2 %	水結合材比	- %	細骨材率	43.7 %	スランプ/固形分率	- %		
回収骨材置換率	緑骨材	粗骨材	安定化スラッグ水の使用 無						
備 考 配合の種類: <input type="checkbox"/> 標準配合 <input type="checkbox"/> 修正標準配合 <input type="checkbox"/> 計量採取記録から算出した単位量 <input type="checkbox"/> 計量印字記録から算出した単位量 <input type="checkbox"/> 計量印字記録から自動算出した単位量									
設計基準強度=Fc42N/mm <sup>2</sup> 指定強度=Fr51.0 N/mm <sup>2</sup> 大臣認定番号MCON-3866									
運 搬 時 間	分	判 定	合 ・ 否						
荷受職員の認印 又はサイン		出荷係の認印 又はサイン							

高強度コンクリートの認定範囲 注）＊：材料分離抵抗性を高めるために、単位セメント量を 450kg/m<sup>3</sup>以上とする。

スランプ (cm)	スランプ 70- (cm)	空気量 (%)	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )							
			39	42	45	48	51	54	57	60
21	—	2.0 3.0 4.0 4.5	○	○	○	○	—	—	—	—
23	—		○	○	○	○	○	○	○	○
—	45		○	○	○	○	○	○	○	○
—	50		○	○	○	○	○	○	○	○
—	55		○	○	○	○	○	○	○	○
—	60		○*	○*	○	○	○	○	○	○

・国土交通大臣認定品（M-CON）納入実績

 <b>秋田拠点センター アルヴェ</b> MCON-0481 大成建設㈱と共同認定 2004.7完成			 <b>山王セントラルビル</b> 2011.3完成	 <b>にぎわい交流館 AU</b> MCON-2345 清水建設㈱と共同認定 2012.7完成	クロッセ秋田 2022.10 完成  MCON-3866
ゼネコンと共同認定					当社単独認定
高強度コンクリート Fc60-60-20-N・575m <sup>3</sup> Fc36-60-20-N・242m <sup>3</sup>		CFT コンクリート Fc36-60-20-N・101m <sup>3</sup>		CFT コンクリート Fc45-55-20-N・135m <sup>3</sup>	高強度コンクリート Fc54-23-20-N・132m <sup>3</sup> Fc48-23-20-N・1,031m <sup>3</sup> Fc45-23-20-N・201m <sup>3</sup> Fc42-21-20-N・1,090m <sup>3</sup>

## ・アクセス (令和6年2月時点)

①秋田空港からリムジンバスと徒歩	<b>秋田中央交通・018-823-7731 秋田空港リムジンバス</b> [予約不要・低料金・乗合] 1・到着ロビー正面のリムジンバス乗車券売機で卸センター入口までの乗車券購入 大人 890 円、○現金・交通系 IC カード、×クレジットカード・電子マネー 2・ターミナルビルを出て左側の「秋田市内ゆきリムジンバスのりば」から乗車 座席予約不要、全席禁煙、21(当社営業時間内 13)便/日 3・卸センター入口下車 (約 31 分) 4・バス停側をバス後方 (コジマ→信号→エネオス→当社) へ④緑線を徒歩約 100m	 
②秋田空港から乗合タクシー	<b>キングタクシー・018-867-7444 秋田エアポートライナー</b> [事前予約・定額料金・乗合] 1・電話 (前日 17 時まで) または QR コード (前々日 17 時まで) で乗車予約 利用内容・秋田空港→秋田市内、降車場所・秋田こまち温泉、場所詳細・秋田市牛島西 1-1-8 秋田市内 A 地区・大人 3000 円(現金のみ) 12(当社営業時間内 8)便/日、1 人から利用可能 2・ターミナルビルを出て右側の横断歩道を渡って左折、次の横断歩道を渡ったら右手の「予約制乗合タクシー乗り場エアポートライナースカイアクセス」から乗車 3・当社住所 (秋田市牛島西 1-1-8・場所詳細で予約) で下車	
③秋田空港から乗合タクシー	<b>秋田中央トランスポート・018-823-1525 スカイアクセス</b> [事前予約・定額料金・乗合] 1・電話(受付 9 時～17 時)または FAX 018-862-0053 で前日 17 時まで乗車予約 牛島地区まで 20km 以内・大人 2500 円(現金のみ) 1 人から利用可能 2・乗り場は②と同じ 3・当社住所 (秋田市牛島西 1-1-8) で下車	
④秋田駅から電車と徒歩	<b>JR 秋田駅・050-2016-1600</b> 1・秋田駅から羽越本線上りで羽後牛島駅下車(約 3 分) 大人 150 円・IC147 円(現金・クレジットカード・Suica) 普通電車 19(当社営業時間内 8)便/日 2・ホームから階段を下って右折、階段を上って 駅舎を出てから右図赤線を徒歩約 530m 国道 13 号沿いに二木ゴルフ、快活クラブ、 あさひタクシー、コバックの次が当社	
⑤秋田駅から路線バスと徒歩	<b>秋田中央交通・018-823-7731 路線バス</b> 1・秋田駅西口/バス乗り場 9 番線から乗車、卸センター入口で下車(約 10 分) 大人 230 円(現金・Suica・AkiCa) 8(当社営業時間内 6)便/日 2・コジマ側へ横断歩道を渡って以降①4 参照 <b>秋田駅西口からのリムジンバスは(卸センター入口で)途中下車できませんのでご注意ください。</b>	
⑥秋田駅からタクシー	秋田駅西口または東口のタクシー乗り場から乗車してください。(3km・約 9 分) スマホでタクシーが呼べるアプリ「GO」は乗車位置指定や到着予定時間表示、クレジット決済が便利	
⑦自動車	大曲方面からお越しの場合、国道 13 号牛島線橋から 500m 先左側 (約 1 分) 能代方面からお越しの場合、国道 13 号県道 56 号茨島交差点から 1km 先右側 (約 3 分)	
⑧秋田空港からレンタカー	<b>オリックスレンタカー秋田空港店</b> [📍(株)山二]・018-881-0543 <b>ニッポンレンタカー秋田空港前営業所</b> ・018-886-3788 100 円レンタカー空港店・018-886-9898、ドラグーンカーズ空港店・018-886-5107 <b>タイムズカーレンタル秋田空港店</b> ・018-881-3451 <b>日産レンタカー秋田駅東口店</b> ・018-835-1623 <b>トヨタレンタリース秋田空港店</b> ・018-886-4100	
⑨秋田駅からレンタカー	西口 0.8km <b>オリックスレンタカー秋田駅西口店</b> [📍(株)山二]・018-837-3900 西口 0.6km <b>トヨタレンタリース秋田駅前店</b> ・018-833-0100 東口 0.4km <b>ニッポンレンタカー東北秋田駅東口営業所</b> ・018-832-5798 東口 0.5km <b>タイムズカーレンタル秋田駅東口店</b> ・018-884-0303 東口 0.4km <b>日産レンタカー秋田駅東口店</b> ・018-835-1623 東口 0.6km <b>バジェットレンタカー秋田駅前店</b> ・018-827-3025 東口 2.3km <b>ニコニコレンタカー秋田東通店</b> ・018-834-3911	